

令和3年度 第11回教育委員会定例会

日時、場所及び出席者

日時及び場所	出席者	
令和4年2月8日(火)	教育長 坂元 裕人	教育総務課長 野村 宏治
午後 2時00分	教育委員 田原 正人	学校教育課長 今井 誠
↓		
午後 4時00分	教育委員 葛迫 幸平	社会教育課長 兼 米田 昭嗣
第2研修室	教育委員 田之上 厚美	国体推進課長
	教育委員 福里 由加	

会議要旨

1 開会

定刻、定足数に達しており、令和3年度第11回教育委員会定例会を開会した。
議案第6号は、教育長から、非公開で審議する旨の発議があり全会一致で議決された。

2 令和3年度第10回定例会会議録の承認

承認

3 議事

報告第2号 令和3年度垂水市一般会計補正予算(第14号)案についての市長への
意見申出について

議案第6号 令和4年度垂水市一般会計当初予算案に関する市長への意見申出について

4 その他

- ・垂水市スポーツ推進計画【見直し版】(素案)について
- ・令和4年度『垂水市の教育』基本方針(案)について
- ・垂水市立学校給食センターの所管替えについて

5 委員並びに教育長及び課長報告

6 閉会

議 決 事 項

件 名	提案理由	審議の状況	採決の次第
<p>報告第2号 令和3年度垂水市一般会計補正予算（第14号）案についての市長への意見申出について</p>	<p>令和3年度垂水市一般会計補正予算（第14号）案の作成について、教育長の臨時代理により差し支えない旨回答したこと、及びその内容について報告するものである。</p>	特記事項なし	
<p>議案第6号 令和4年度垂水市一般会計当初予算案に関する市長への意見申出について</p>	<p>令和4年度垂水市一般会計当初予算案に関して市長へ意見を申し出ることにについて、教育委員会に議決を求めるものである。</p>	特記事項	承認

議 事 内 容 等

3 議 事	<p>報告第2号 令和3年度垂水市一般会計補正予算（第14号）案についての市長への意見申出について</p>
教育総務課長	<p>令和3年度垂水市一般会計補正予算（第14号）案の作成について、教育長の臨時代理により差し支えない旨回答したことを報告するとともに、その内容について説明。</p>
葛迫委員	<p>水道光熱費の増額補正がでていますが、ガソリン等の値上げが関係しているのか。</p>
教育総務課長	<p>今回の補正の水道光熱費は殆どが電気代である。ガソリン等の値上げの影響というよりも、やはりコロナ禍ということで換気をしながらの暖房になるので相当電力を消費するものと思われる。休み時間は窓を全開にして換気を行い、寒くなった状態から授業を開始するとき、またエアコンをかけるので電気代が上がるのは当然の事と思う。</p>
田之上委員	<p>国の「学校等における感染症対策等支援事業」とは具体的に何か。</p>
教育総務課長	<p>これは令和3年度もあったと思うが、コロナ関連予算である。今回のオミクロン株流行のタイミングで国の方で予算が付き、市においては3月補正で予算化するが、実質的には4年度に繰り越して、各学校に予算を配分</p>

教育長	<p>し、学校が必要とするものを購入するという形になる。教育総務課においては、保健衛生用品等の消耗品、学校教育課においてはコロナ関連の授業で使う備品を購入するものである。</p> <p>垂水小学校で使用しているシールド（透明な仕切り）はかなり使い込んでいるので、もう少ししっかりしたものを取り付けてあげたい。教育委員会で準備するのか、配分予算という形で学校に配るのか確認してください。</p>
その他	<p>議案第6号 令和4年度垂水市一般会計当初予算案に関する市長への意見申出について （非公開） （議案第6号 承認）</p>
社会教育課長	<p>垂水市スポーツ推進計画【見直し版】（素案）について説明。</p>
教育総務課長	<ul style="list-style-type: none"> ・令和4年度『垂水市の教育』基本方針（案）について説明。 ・令和4年度教育総務課の基本方針及び重点施策（案）について説明。 ・新総合八つのプラン（案）令和4年度～ について説明。
学校教育課長	<ul style="list-style-type: none"> ・令和4年度学校教育課の基本方針及び重点施策（案）について説明。
社会教育課長 兼国体推進課長	<ul style="list-style-type: none"> ・令和4年度社会教育課の基本方針及び重点施策（案）について説明。 ・令和4年度国体推進課の基本方針及び重点施策（案）について説明。
教育総務課長	<p>ご意見・ご要望があれば、それを反映した形で来月の定例会に正式な議案として提出する予定である。</p>
教育長	<p>本日、提案したばかりなので、また次回でも構わないのでご意見等を賜ればと思います。</p>
教育総務課長	<p>垂水市立学校給食センターの所管替えについて、経営会議で了承が得られたら学校教育課から教育総務課に移管を考えていることを説明。3月の教育委員会定例会において、正式に「垂水市教育委員会の行政組織に関する規則の一部改正について」及び「垂水市教育長の権限に属する事務に関する決裁規定の一部改正について」の議案を提出予定である旨を説明。</p>
田原委員	<p>学校給食の様々な問題、苦情、要望については、対応しやすいという理由で、これまで学校教育課の所管だったと思う。今回移管するとなると、事務的なことは教育総務課の方がよいと思うが、所謂、食育を含めた教育に係る部分はこれまで通り残していかないといけない気がするが。</p>

<p>学校教育課長</p>	<p>食育に関することは、これまで通り学校教育課で担当する。ただ係を移管するだけで学校教育課がしなければならない業務については継続してやっていく。</p>
<p>5 委員並びに教育長及び課長報告</p>	<p>委員並びに教育長及び課長報告。</p>
<p>田原委員</p>	<p>「教員不足に関する新聞記事について」 新聞報道で気になる記事があった。「教員不足なのに教員採用試験の倍率低下」という記事が載っていた。「教員が足りないから教員に成り手がいないのか。成り手がいないから教員不足なのか。」どっちが先なのかよく分からないが、このことは全国的な傾向であり、我が鹿児島県も同じ傾向だと思う。</p> <p>垂水市ではこのようなことはなかったが、新学期に担任が決められないということもあるらしい。私が学校を退職したのはちょうど平成20年である。私どもを境に4～5年は団塊の世代であるが、この時大量に退職したので、採用枠も広く採用数も増えたと思うが、この現状はどうしたものか。正規職員は一定枠にして非正規職員を増やしたのか、そのへんはよく分からないことであるが。教員の場合は、子供を教育しながら指導力や人間力も向上させていく面があるので、期限付き教員で一年一年切っていくのではなく、正規職員を増やしてじっくり育てていくのが望ましいと思う。これまで不人気だった中学校の部活動指導は大分改善されつつあるのではないかと思う。例えば練習の時間短縮や休日の確保、外部指導者の導入などで少しずつ改善されていると思うが、現状はどうだろうか。</p> <p>小学校では、英語の授業、パソコン端末を活用した授業などが新たに入ってきた教育内容だと思うが、これに対してのアレルギーがあると思う。昔、ALTが入ってきたとき、文法ばかり教えてきた中学校の英語の先生方が、実際に英会話ができなくて、もう教師を辞めるといようなことがあったが、今の高齢の先生方にとっては、英語、パソコン操作を負担に感じるものがそれに似たような現象ではないかと思うことである。これはマスコミが多忙化をおおっている面もあるが、ここしばらくは高年齢の先生には負担を感じる所かも知れない。それに加えて、最近のコロナ感染防止対策など神経を使う仕事が増えているからなおさらである。</p> <p>子供に限らず、先生方にも気軽に悩みを聞いてもらえる同僚の先生とか、先輩教師、英語指導やパソコン端末活用の授業の自由な研究集団が各学校にあって、困ったときにすぐに聞き合える集団があることが必要ではないだろうか。少なくとも一人ぽつんと孤立する先生がいないように、そういう点では管理職の力量も試されるような気もする。新聞記事を見て、いろいろと考えさせられた。教育界も昔と様変わりしているなど感じている。</p> <p>「男女河原祭りの中止について」 今年も、残念ながら男女河原祭りを中止することとした。先日、市長へその旨を伝えたところである。理由はやはりオミクロン株の感染拡大であ</p>

る。三年続けて中止するのは、非常に残念だが仕方がない。今年も4月3日は9時からグラウンドで神事だけは実施する予定である。雨が降ったら、公民館のロビーでの実施。そのかわり、白山神社の参拝登山は奨励する。登頂時刻の8時から15時までは、私達が頂上で皆さんをお待ちしています。(雨の場合は中止。)山頂で記念タオルを皆さんにお配りします。そのタオルを三和センターに持参されますと記念品を差し上げます。

また、山頂の見晴らしをよくするために、伸びてきたススキや低雑木を刈り取るボランティア作業を2月27日の日曜日に実施します。雨が降ったら3月6日に延期する予定です。この作業は、山頂の見晴らしや登山道の維持管理のために毎年実施することになっています。

「和田英作・和田香苗記念絵画コンクールの本展示会について」

葛迫委員

県内でも1月からのオミクロン株による感染拡大が続いていたが、それでも垂水市の和田英作・和田香苗記念絵画コンクールは1月16日(日)から開催することができた。県内国内問わず様々な美術展において、マスク着用や感染対策を万全にしてソーシャルディスタンスを取りながら観覧することが条件で、どこの美術館も休館という措置は取っていないのが現状である。そういうことで、本市の和田コンも開催する運びとなった。

そうは言っても、開場式は密になることが予想されたので、中止という判断を下し、表彰式については、一般部門の上位5人の受賞者のみを招待し、展覧会開始時間の15分前に行った。受賞者の4人の方がお見えになったが、少し残念だなという気がした。ジュニア部門については、展示のみの開催となった。通常なら盛大な開場式や表彰式を行うところであったが、せめて一般部門において少しでも形として残すことができたことは、喜ばしく思っている。こういう時期なので、他の市町村の美術展は開場式・表彰式はできなかつたと聞いている。

また、通常だとギャラリートークを最終日に開催するのだが、今回はコロナ禍ということで、出品者が抱える描くことに関する悩みや絵画や色彩についての疑問点などにお答えする勉強会「絵画表現講座」を開催した。初日の16日は20人ほどの参加者、最終日の23日には15人ほどの参加者があった。開催を2回に分けたことで密を避けることができたと思っている。

勉強会では、「どうしたら上手く描けますか。色を塗っていると色が濁ってしまうけどどうしたらいいですか。こういうときはどう描くか構図を教えてください。私の絵は説明が過ぎると言われるが、どうしたらいいですか。」など、様々な質問があった。また、色彩のイメージ(色が持っているイメージ)を言葉にしようというトレーニングでは、赤色が持っているイメージ、青色が持っているイメージ、白色、黒色、橙色、黄色など、一人一人に言葉で表してもらった。その色を使うことでイメージを膨らませていく。参加者からは、「よい勉強会だった。是非、来年も実施して欲しい。」など多くの意見を頂いた。また、指宿市の参加者からはお礼のハガキも届き、非常に嬉しく思った。

県内ではまだこのような講座を開催している自治体はないので、来年も続けることが重要だと思っている。また、この絵画表現講座に参加できなかった方々からは、「知らなかった。教えて欲しかった。」などの声もあつ

たので、搬入時での告知を徹底することに重きを置いて欲しいなと思った。また、今年から受賞者の賞状を二つ折りファイルにしたことで入賞者にはよいイメージを与えたと思っている。

このようにコロナ禍の中で開催が危ぶまれていたが、無事に和田コンが開催できたに対して、主催者側、出品していただいた作者の方々、協賛してくださった企業、ご後援いただいた関係機関等に心からありがとうと感謝申し上げたい。

「コロナ禍での児童クラブの状況について」

田之上委員

今までもコロナ禍での日々だったが、今回のオミクロン株でいよいよコロナが身近に迫ってきたなとひしひしと感じている。児童クラブでは、これまでは子供たちのマスクもキャラクターなどの布製マスクを許容してきたが、一月末よりクラブ内で過ごすときは、不織布のマスク着用を保護者の方をお願いしているところである。今では、児童クラブの利用を自主的に控えてくださっている家庭もあり、普段よりは幾分少ない児童数で過ごしている状況である。しかし、子供たちは以前と変わらずとても元気で過ごすことができていることに安堵している。児童クラブの子供たちは、雨が降らなければ寒い日でも風が強い日でも外で元気よく遊んでいる。鬼ごっこやドッジボール、一輪車などをして、よく遊んでいるようである。児童クラブは、校庭の東側を利用させてもらっているが、たまにボールがフェンスを越えて川（側溝）に落ちたり、隣家の庭に入り込むことがある。児童クラブだけでなく、学校の昼休みなどでも起こりうることはないだろうか。今後、フェンスの老朽化などで改修等がある場合はフェンスを高くするなどの検討をして頂けたら有難い。

「地区対抗女子駅伝を観戦して」

1月30日は、地区対抗女子駅伝をテレビ観戦していた。中・高校生の潑刺とした走り、毎年走っておられるお馴染みの顔ぶれ、県外の学生さんの地域への感謝と恩返しの方走、出走地域を変わっての出走など、いろいろな想いを持って走られる姿に感動した。また、地元肝属チームの3位入賞は大変誇らしく嬉しいことであった。加えて、今回、交通機動隊先導の白バイ巡査（薩摩クイーンズ）が、垂水出身の子であったことも非常に嬉しく思えた。様々なところで、地元の子供たちが頑張っている姿を見ると、本当に嬉しく思うことである。

福里委員

「GTEC junior」という小学生から社会人までが英語力を測定できるスコア型英語4技能検定というものが、息子のクラスでも、タブレットの授業の中であったようで、「読む・書く・話す・聞く」の四つの技能を測れるテストだったらいい。前日にテスト練習ということで、タブレットを持ち帰り宿題があった。私は宿題の内容を確認できなかったが、次の日に友達のお母さんから、「昨日の宿題見た？」と聞かれ、「見ていない。」と答えると、「凄く難しかったよ。小学生があんな内容の英語をやるんだね。」と言っていた。実際に、息子に尋ねたら、「難しかった。」と返してきた。ま

だ、結果は返ってきていないが、担任の便りには、テストがあった旨が書いてあった。子供たちは、「もうやりたくない。」と何人もそのテストについて日記に書いていたらしい。私は、こんな早い段階から難しいテストを受ける必要があるのか、子供たちが英語嫌いにならないか心配することだった。息子は早い段階から英語の塾に通っているが、塾の先生が言うことと学校の先生が言うことでは違うところがあるらしく、戸惑うことがあると聞いている。塾の先生は、当初、「英語を嫌いになって欲しくない。楽しくやってほしい。」と言われていたが、今では、「もうすぐ中学生になるので、これまでリスニングで楽しくやっていたが、今はもうそういう段階ではありません。だからできるだけ休まないでください。」と言われていた。休んだときに学んだ内容が、次に塾に来たとき分からなかったら、子供に「もう英語は難しいから嫌だ。」と思わせたくないというのが、その理由らしい。小学校の英語の内容も凄く難しくなっているということだったので、子供たちは大丈夫かなと少し心配になった。「今回のテストは英語の塾に通っている子供なら何とかできるでしょう。」と学校の先生が言われたみたいで、殆どの子供たちが、「全然分からなかった。」と言っていたということだった。

今回、初めて和田英作コンクールの作品展を見に出かけた。普段、絵を見に行ったことがないので、子供も凄く喜んでいて。実際はついでがあったので見に行ったのであるが、思っていた以上に色々な作品があり、「絵を見るって、こんないいものなんだ。」と凄く感動した。絵を見る体験や情操教育の大切さを改めて感じた。もっと多くの人に見て貰えるように、気軽に行けそうな場所に展示してあげれば良いと思う。特に息子は絵が好きなので、私たちよりじっくり見ていた。このような作品展をもっと早くから見に行くべきだったと思うことだった。

垂水小学校で深海魚を使った給食を食べ、勉強する機会があり、子供たちは二人ともとても喜んでいて。息子は最近、深海魚のことだとか、薬物のことだとか、いろいろな勉強をしてきて有難いことだと思っている。

教育長

新型コロナオミクロン株の爆発的な流行は、なかなか収束が見えない状況であるが、テレビ等の報道によると、ピークアウトが見えてもその後は緩やかな減少になるだろうと言われている。そうすると、この影響は4月頃まで及ぶであろうことを見据えながら、学校の教育活動の計画を立て、こんな時にはこんな風に対応しようというところを想定し、日々を過ごすことが大事だと思っている。今、新型コロナ対策として本市において大事にしていることが3点ある。第1点が水際対策である。これは徹底している。兎に角、外から持ち込まないという学校の中での水際対策の徹底。2点目は、感染症対策のこれまで以上の徹底。3点目が、もうご承知のとおり色々なところで火種がありますので、関係各課のより一層の連携。これが非常に大事だと思っている。そういうことをまずきちっと据えて、子供、とりわけ受験生を感染から守ること。昨日から高校の出願が始まったが、こういう状況なので受験生を守ることが最も大事である。それと、「守る」という意味からは、濃厚接触者を含めて感染した人を差別・偏見・誹謗中傷から守る、人権を守るところが大事だと思っている。それ

から、どうしても学校を休まざるを得ない子供への対応というところで、学びの保障であるリモート授業。これを全ての学校で実施しているというところである。加えて2月中旬の11～13日は、本来であれば、12日が第2土曜日で土曜授業であるが、それを今回は見送り、あえて三連休をつくりたいと思う。まずは、子供たちに元気になってもらいたい。それまでの間に体調を崩す子もいるだろうから、この三連休でしっかりと体調を整える。勿論、子供と向き合う先生方もきちっと体調を整えるということで三連休とする。万一、クラスターが発生しても、その広がりを最小限に防ぎたいと思っている。

先程来いくつも話題になっているコロナの影響であるが、その一つとして、先程、葛迫委員が言われた「和田コン」である。残念ながら、開場式、表彰式は私自身も参加できない状況だったが、葛迫委員が何とかそこを取り仕切って行ってくださった。作品展も336人という大変多くの方々に見て頂き、そのよさを実感して頂けたのかなと思っている。コロナ禍だからこそ、やはり絵画鑑賞という素晴らしい時を過ごして欲しいと思っている。

コロナの影響その2であるが、様々な重要な会議等が中止あるいは書面決議になっている。例えば、先程申し上げたスポーツ推進計画運営委員会。この後開かれる生涯学習推進会議、これは垂水市さわやかあいさつ運動推進協議会とも連動していくが、この二つとも書面決議になっている。社会教育行政を進めていく上で、一番上位の会議である社会教育委員の会議も書面決議というように、軒並み重要会議を送らせざるを得ない状況になっている。

コロナの影響その3として、実は2月12日第2土曜日の土曜授業を見送ると言ったが、新城小学校だけは、創立150周年記念事業があるので見送ることができない。規模を縮小し、時間を短縮して記念事業を開催するというので、児童・保護者・教職員・実行委員で約70人。そのなかで、「鎌手踊り」の披露等もあるというところで、確か地域の方々の参加はわずか6人に止まったと聞いている。そういう意味では、コロナ感染への恐怖というか地域も学校側も慎重である。150周年の大きな大きな節目の行事なので、規模縮小とは言え、きちんとした形でできればいいなと思っている。もし、万が一、子供あるいは保護者に一人でも発生すれば式典は中止になりかねない。規模縮小・時間短縮の形でも構わないので、せめてこの式典が無事にできればいいなと思っている。

教育総務課長

時間の関係上、1月12日から2月8日までの主な行事等の実施状況及び3月11日（次回開催日）までの行事予定について説明を省略。また、教育委員の出席行事については記載誤りである旨を説明し、次回3月定例会について議会の関係上8日から11日に日程変更したことを説明。

6 閉 会